

は し が き

この教材は、「簿記検定2級」を受ける人びとのためのCAL (Computer Assisted Learning) 教材として研究開発したものです。

この教材の開発に当り、できるだけ内容の記述を平易にし、工業活動や個々の取引活動などについては、図解をし、イラストも豊富にとり入れて、専門的知識と現実の工業社会との関連性を明確に把握しながら、系統的にマイペースで習得できるよう心がけております。

簿記検定2級の教材として適当であるばかりでなく、さらに広く工業簿記の習得を志す方々にも充分役だつものと思います。

本教材の研究開発に際しては、下記の方々に開発をお願いしました。短期間に開発をいただきましたので、今後の実践を通して、必要に応じ修正したいと考えています。

最後に、ご執筆いただいた諸先生ならびに研究開発のご協力をいただいた諸氏に心から感謝の意を表す次第であります。

作 成 委 員 (敬称略 五十音順)

大 滝 美恵子	苫小牧地域職業訓練センター運営協会
大 原 泉	株式会社 オービックビジネスコンサルタント
砂 沢 恵 子	宮城障害者職業訓練校
川 井 正 治	東京都大塚高齢者高等職業技術専門学校
菅 野 陸 朗	日本電信電話株式会社
河 原 寿美子	OAインストラクター
木 村 享	雇用促進事業団 滋賀技能開発センター
鈴 木 幸 村	東京都高等職業技術専門学校 講師
長 谷 昌 彦	雇用促進事業団 兵庫技能開発センター
水 挽 義 男	日本アイ・ビー・エム株式会社
三 村 登美子	雇用促進事業団 滋賀技能開発センター
山 川 明 子	職業訓練大学校 職業訓練研修研究センター
大 川 祥 三	職業訓練大学校 職業訓練研修研究センター
高 橋 辰 栄	職業訓練大学校 職業訓練研修研究センター

平成5年3月

雇用促進事業団 職業訓練大学校
職業訓練研修センター

所 長 城 哲 也

1. 学習ガイダンス

- このテキストは『簿記検定〈2級〉工業簿記』のCAL学習用補助教材です。
- 学習の前に、次の学習登録表にコード等を記入して下さい。

(1) 学習管理装置“有”の場合

■学習登録表

1. 科班コード	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
2. 出席番号							<input type="text"/>	<input type="text"/>
3. 氏名								

(2) 学習管理装置“無”の場合


■学習登録表

1. 学習者コード	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2. 氏名			

(注) 科班コード・出席番号および学習者コードは、与えられたものをお使いください。

- (3) CALシステムでは、あなたとコンピュータの会話によりマイペースで学習できます。操作は簡単で、電源を入れますと画面に操作ガイダンスが表示されます。さあ、チャレンジしてみましょう。

2. 各種キーの機能

キ ー	機 能
	<p>学習の進行</p> <ul style="list-style-type: none"> 次画面への進行に使用します。 回答等に対し、入力終了を意味します。
	<p>前画面の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大10画面まで復習できます。 元の画面へ戻りたい場合は「了解」を押下します。
	<p>ヒント画面の参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ヒントあり」等の表示がある場合、押下することにより、ヒント画面を見ることができます。 途中の元の画面へ戻りたい場合は「了解」を押下します。
	<p>応用画面の参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 「応用あり」等の表示がある場合、押下することにより、応用学習ができます。 途中で元の画面へ戻りたい場合は「了解」を押下します。
	<p>元の画面への復帰</p> <ul style="list-style-type: none"> 復習、ヒントおよび応用画面の学習途中の元の画面に戻る場合に使用します。
	<p>タイプ文字の消去</p> <ul style="list-style-type: none"> 回答等、タイプ（入力）文字の訂正に使用します。 「後退」を押下した回数だけ、タイプ文字を消去します。（A形は「BACK SPACE」と表示されています）
	<p>学習項目の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コントロール」を押下しながら「P」を押下することにより、本教材の学習項目の選択ができます。（A形は「CTRL」と表示されています）
	<p>学習の中断</p> <ul style="list-style-type: none"> 押下することにより学習を中断します。 次の学習時は、中断画面から再開できます。

※回答等の入力は、カーソル位置より、つづけてタイプ（入力）してください。

3. 学習項目指定表

学 習 項 目		指定 番号
CAL学習の進め方		1
簿記検定〈2級〉商業簿記(タイトル)		2
第1章 工業簿記の基礎知識		3
1	工業簿記の特色	4
2	原価と原価計算の目的	5
3	原価の分類	6
4	原価計算の分類と期間	7
5	工業簿記と原価計算	8
第2章 材料費の計算と記帳		9
1	材料費とは	10
2	材料の仕入に関する手続き	11
3	材料の払出に関する手続き	12
4	材料消費高の計算	13
第3章 労務費の計算と記帳		14
1	労務費とは	15
2	支払賃金の計算と記帳	16
3	消費賃金の計算と記帳	17
4	その他の労務費の計算と記帳	18
第4章 経費の計算と記帳		19
1	経費とは	20
2	経費の計算	21
3	経費の記帳	22
第5章 製造間接費		23
1	製造間接費とその配賦	24
2	製造間接費の予定配賦	25
第6章 個別原価計算		26
1	個別原価計算の種類	27
2	原価元帳と製造勘定	28
3	仕損品・作業くずの処理	29
第7章 部門別個別原価計算		30
1	原価部門の設定	31
2	部門別個別原価計算の手続き	32

学 習 項 目		指定 項番
第8章 総合原価計算		33
1	総合原価計算の特色	34
2	総合原価計算のしくみ	35
3	月末仕掛品の評価	36
4	単純総合原価計算	37
5	等級総合原価計算	38
6	組別総合原価計算	39
第9章 工程別総合原価計算		40
1	工程別総合原価計算	41
2	副産物・作業くず・仕損品の処理	42
第10章 標準原価計算		43
1	原価管理と標準原価計算	44
2	原価標準の設定	45
3	標準原価の計算	46
4	実際原価の計算	47
5	原価差異の計算と分析	48
6	標準原価計算に記帳法	49
第11章 直接原価計算		50
1	利益計画と直接原価計算	51
2	直接原価計算の勘定記入と損益計算書	52
第12章 製品の完成と販売		53
1	製品の完成に伴う手続きと記帳	54
2	製品の販売に伴う手続きと記帳	55
3	販売費および一般管理費	56
第13章 工場会計の独立		57
1	決算の手続き	58
2	財務諸表の作成	59
3	本社・工場間の取引	60

4. 勘定科目表

1. 貸借対照表勘定

【資産の勘定】

- 流動資産
 - 現金
 - 当座預金
 - 受取手形
 - 売掛金
 - 貸倒引当金
 - 割賦売掛金
 - 有価証券
 - 素買入部材
 - 燃工場消耗品
 - 消耗器具備品
 - 製半製品
 - 仕掛品
 - 副産品
 - 仕損品
 - 作業屑
 - 短期貸付金
 - 前払金
 - 未収収益
- 有形固定資産
 - 建物
 - 同減価償却累計額
 - 構築物
 - 同減価償却累計額
 - 機械装置
 - 同減価償却累計額
 - 船舶
 - 同減価償却累計額
 - 車両運搬具
 - 同減価償却累計額
 - 工具器具備品
 - 同減価償却累計額
 - 土地
- 無形固定資産
 - 特許権
- 投資資産
 - 長期貸付金
- 繰延資産
 - 創立費
 - 開業費
 - 新株発行費
 - 社債発行費
 - 社債発行差金

【負債の勘定】

- 流動負債
 - 支払手形
 - 買掛金
 - 短期借入金
 - 未払金
 - 未払費用
 - 預り金
 - 前受収益
 - 未払法人税等
- 固定負債
 - 長期借入金
 - 社債
- 引当金
 - 退職給与引当金
 - 修繕引当金
- 【資本の勘定】
- 資本金
 - 資本金
- 法定準備金
 - 資本準備金
 - 株式払込剰余金
 - 利益準備金
 - 再評価積立金
- 剰余金
 - 任意積立金
 - 未処分利益

※枠内の勘定科目は、工業簿記で使用する独特の科目です。

2. 損益計算書勘定

【収 益 勘 定】

- 売 上

製 品 売 上
半 製 品 売 上
- 受取利息・割引料
- 有価証券利息
- 受取配当金
- 有価証券売却益
- 雑 益
- 特 別 利 益
 - 固定資産売却益
 - 貸倒引当金戻

【費 用 の 勘 定】

- 売 上 原 価

製 品 売 上 原 価
半 製 品 売 上 原 価
変 動 売 上 原 価
- 販売費および一般管理費
 - 販売員給料手当
 - 販売員旅費
 - 広告宣伝費
 - 運賃
 - 貸倒償却
 - 役員給料手当
 - 事務員給料手当
 - 減価償却費
 - 旅費交通費
 - 電力料
 - ガス代
 - 水道料
 - 保険料
 - 地代
 - 家賃
 - 修繕材料費
 - 事務用消耗品費
 - 租税公課
 - 雑 費
 - 販売費および一般管理費
 - 変動販売費および一般管理費
 - 固定販売費および一般管理費
- 営 業 外 費 用
 - 支払利息・割引料
 - 社債利息
 - 有価証券売却損
 - 創立費償却
 - 開業費償却
 - 新株発行費償却
 - 社債発行費償却
 - 社債発行差金償却
 - 雑 損
 - 特 別 損 失
 - 火災損失
 - 固定資産売却損

3. 原価計算勘定

【原 価 要 素 勘 定】

- 材 料 費
 - 素買入部品費
 - 燃 料 費
 - 工場消耗品費
 - 消耗器具備品費
- 労 務 費
 - 賃給雑当料
 - 従業員賞与手当
 - 退職引当金繰入
 - 健康保険費
 - 福利厚生費
 - 注 加 工 費
 - 特許権使用料
 - 厚減賃借却費
 - 保賃借除繕料
 - 修電力ス道料
 - 水租旅通保棚雑費
 - 税 公 課 費
 - 費 交 信 管 耗 費
 - 卸 減 料 費
- 経 費
 - 外注加工賃
 - 特許権使用料
 - 厚減賃借却費
 - 保賃借除繕料
 - 修電力ス道料
 - 水租旅通保棚雑費
 - 税 公 課 費
 - 費 交 信 管 耗 費
 - 卸 減 料 費

【原 価 集 計 勘 定】

- 製造（仕掛品）
- 製造間接費
- 固定製造間接費
- 製造部門費
- 〇〇製造部門費
- 補助部門費
- 動力部門費
- 修繕部門費
- 材料部門費
- 労務管理部門費
- 工場事務部門費
- 部門共通費
- 原 価 差 額
- 材料消費価格差異
- 賃 率 差 異
- 製造間接費配賦差異
- 製造部門費配賦差異

4. 決算集合勘定

損 益 勘 定

協 力

佐 藤 芳 朗 日本電信電話株式会社

花 田 豊 文 NTTラーニングシステムズ株式会社

簿記検定 2 級

教材情報資料第 9 号 - 2

Computer Assisted Learning

発 行 1993年 3 月

発 行 者 職業訓練大学校
職業訓練研修研究センター
所 長 城 哲 也
〒229 神奈川県相模原市橋本台 4-1-1
電話 0427-63-9005 (代表)

印 刷 株式会社 芳 文 社
〒160 新宿区四谷 4-30-1
電話 03-3356-5887